

## 読図山行 参加報告

記 NAKANISHI

2023年9月18日(月) 晴れ時々曇

コース：JR島本駅南口～島本図書館～標高点54m～若山神社～P309m～若山～送電線下分岐  
～P134m下～桜井台～水準点12.3m～島本駅(解散)

参加者：Mi 0 Fu Na Ku Na 6名

今日は山行部主催の読図山行です。相変わらずの猛暑続きですが、読図の基本的なことから勉強させてもらえるので張り切って参加しました。

読図教室の先生はMさんです。M先生には昨年もお世話になり、我が家の机の引き出しに10年以上眠ったままになっていたシルバコンパスの使い方を教わりました。

さて、国土地理院の地形図を片手に首からコンパスをぶら下げて、JR島本駅をスタート。早速、駅前の公園風の所で立ち止まって地図を見ます。三つの点が書いてあるので、お茶畑かと思いきや史跡の印だとのこと。さらに良く見ると、小さな長方形の印があって、これは記念碑。ここは史跡桜井驛跡でした。

地図記号は学校で一通り習ったはずなのに、すっかり忘れてるのが恥ずかしい。

地図と照らし合わせて図書館、役場、学校、消防署などのチェックポイントを通過し、植生や地形の見方について説明を受けながら予定コースどおりに進み、1時間程かけて若山神社に到着です。

本殿にお参りを済ますと、いよいよ太閤道の山道を登っていきます。送電線、鉄塔、堰堤の位置も参考にしながら地形を観察して現在地を確認しようとはしますが、私にはまだ自信がありません。分岐では立ち止まって、コンパスをあてて進行方向を確認する練習もしました。

等高線が大きく閉じたところでは、地図には表れない隠れピークがあるとのことで、実際に行ってみると確かにこんもりしたピークがあって納得。

若山手前の展望所からの眺めは最高でした。秀吉が高松城からの中国大返しで通った時にもこの景色を見たのでしょうか。ここから眼下の三川合流地点や鳩ヶ峰にコンパスを向けて地図に定規で延長線を引くことで現在地を特定する方法も教えていただきました。特に、現在地確認する時には、送電鉄塔近くや送電線の下では電磁波の影響でコンパスが狂う事があるので注意が必要だということを実体験して学びました。

若山の三角点(315.2m)を写真に収めて下山開始。送電線に沿って幅の広い急斜面を降りていくと、道が樹木の伐採で隠れて無くなっていましたが、M先生がトラバースして隣の尾根にある道を見つけてくださいました。私もこんなトラブルに的確に対処できるようになりたいと思います。

町まで下りてくると、最後の仕上げは水準点12.3mの確認です。炎天下の歩道をみんなで探し回って見付けた時にはホッとしました。今まで全く気付かず通り過ぎていた場所にいろんな印があることに驚き、改めて地図読みの奥深さ、大切さを感じた一日でした。

M先生ありがとうございました。参加された皆様、暑い中お疲れ様でした。これからもよろしくお願いたします。

